

ものわすれ

米の山病院
放射線科

「いきをすって」004号

認知症（痴呆）は身近なものなのです！

日本人の平均寿命は、男性は78歳、女性は85歳と世界一位の長寿国です。そして85歳以上のお年寄りの4人に1人が認知症（痴ほう）といわれています。

？「ものわすれ」はなぜ起こるの？

年齢を重ねるうちに「ものわすれが増えてきたな」と思う方は多いのではないのでしょうか。これは脳の神経細胞の減少という免れることのできない老化現象の影響で、誰にでもおこる「ものわすれ」です。しかしこのような、通常の老化による減少より早く神経細胞が消失してしまう脳の病気、これが認知症（痴ほう）です。



？「痴ほう」と「ものわすれ」の違いってなんだろう？

認知症（痴ほう）	歳のせいによるものわすれ
病気	病気ではない
進むことが多い	半年～1年では変化なし
忘れるのは体験自体	わすれるのは体験の一部
ものわすれ以外に時間や判断が不確かになる	記憶障害のみ
物盗られ妄想などの精神症状を伴うことがある	他の精神症状を伴わない
しばしば自覚していない	自覚がある

このように認知症（痴ほう）とは、脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などの障害がおこり、普通の社会生活がおくれなくなった状態と定義されています。

< 問診 >

？「痴ほう」の原因はなんなの？

認知症（痴ほう）は、脳が病的に障害されておこります。その原因となる病気は、頭蓋内の病気によるもの、身体の病気によるものなどたくさんあります。しかし、多くは「アルツハイマー型痴ほう」と「脳血管性痴ほう」です。

「アルツハイマー型痴ほう」…脳の神経細胞が急激に減ってしまい、脳全体が萎縮していきます。「脳血管性痴ほう」…脳血管の障害によって、脳の働きが悪くなっておこります。



< 脳の画像や脳波 >

？どんな検査や治療があるの？



認知症（痴呆）、とくにアルツハイマー型痴呆症は穏やかに発症し、ゆっくりと進行します。少しでも「おかしいな」と感じたら医師の診察を受けましょう。また、半年に一回の頭部CT検査や年に一回の頭部MRI検査で脳の状態を調べるのも大事です。

早期発見・早期治療が大事です。

※検査のご依頼は放射線科へお尋ね下さい。

参考 ファイザー製薬／持田製薬